

15

Landscape
Gardening

造園



緑化の技術を駆使して身近な自然を創造!

造園は、設計・施工・管理にいたるまで、あらゆる工程で見る人が心なごみ、自然や四季を身近に感じる景観になるよう工夫が凝らされています。そのため、樹木や石に関する深い知識、空間構成力やデザインセンス、それらを表現するための施工技術など、多岐にわたる技能が必要です。公園緑地や街並みなどの緑化を通して、地球の温暖化防止にも貢献するなど、自然と向き合う大自然のクリエイターです。

2019年大会 参加選手の状況

高等学校（農業系）：	17人
都道府県職業能力開発施設：	1人
短期大学：	1人
専門学校：	1人

※2020年大会はコロナ禍により中止

POINT

重要なのは 素材を生かす確かな技能!

競技では2m×1.5mの区画に、四目垣の製作（竹を縦横に組んだもの）、縁石の施工、樹木や草花の植栽などを行います。自然素材の材料（石、竹、樹木、草花など）は、形や表情がそれぞれ異なるため、周りの景観とのバランス、配色のセンスなど、素材を生かす確かな技能が重要となります。縁石の施工や石張りの曲線表現は、技能者の腕の見せ所です!

高木 生一 主査
一般社団法人日本造園組合連合会

